

令和4年度 第1回富里市行政改革推進審議会
会 議 録

〔日時〕 令和5年3月23日（木）

10:00～11:40

〔場所〕 富里市役所本庁舎3階第3会議室

■ 出席者（順不同）

- （会長） 寒郡茂樹委員
（副会長） 町田 弘委員
本橋幸子委員
田島晃一委員
石川賢治委員（書面参加）
（市長） 五十嵐博文市長
（事務局） 鈴木企画財政部長、細野経営戦略課長、藤田課長補佐、
成毛主査
（傍聴者） なし

■ 次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 会長・副会長選出
- 6 議事
(1) 第3次行政改革大綱改革プランの令和3年度実績について
- 7 その他
- 8 閉会

■ 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 富里市第3次行政改革大綱（令和3年度改革プラン実績）
- ・ 富里市行政改革推進審議会設置条例
- ・ 富里市審議会等の委員の公募に関する規則

会議録

1. 開会

2. 市長あいさつ

五十嵐市長よりあいさつ

3. 委嘱状交付

五十嵐市長より委員全員へ委嘱状の交付

4. 委員紹介（自己紹介）

寒郡委員→町田委員→本橋委員→田島委員の順で自己紹介
事務局紹介（部長から順に自己紹介）

※別件公務のため市長退席。

5. 会長・副会長選出

互選により会長を寒郡茂樹委員に、副会長を町田弘委員に決定。

【寒郡会長】

あいさつ

【町田副会長】

あいさつ

【事務局】

本日、傍聴人の申込はありません。

次第の6議題について、議事の進行は富里市行政改革推進審議会設置条例第6条の規定により寒郡会長にお願いする。

6. 議題

(1) 第3次行政改革大綱改革プラン（令和3年度実績）について

【会長】

- ・事務局より説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

- ・それでは委員の皆様から率直な意見や感じたこと等を1人ずつ伺いたい。

【委員】

- ・市税等の徴収状況について、国保税のみ徴収率が低くなっている理由はあるか。

【事務局】

- ・国民健康保険税の徴収については、市税と併せて納税課にて徴収を一元化している。
- ・国保加入者については、会社を辞めて一時的に国保に入る人や、定職に就いていない方、外国人の方などが多い状況であり、所得が安定していない方が多いことが、徴収率が低いことの一因となっている。
- ・令和5年度からは、市の徴収体制を強化して、給食費や保育料等の債権を一元化して、納税課において総合納付相談等を実施し更なる徴収率向上に努めていく。

【委員】

- ・職員研修について、人材育成が重要であることは認識しているが、業務により様々な研修があり、場合によっては職員の職務環境に影響を及ぼしていることはないか危惧している。
職員の業務負担も考慮しながら人材育成を進めてもらいたい。

【委員】

- ・業務の電子化は、今後さらに進んでいくと思われるので、初期投資に躊躇することなく、積極的に取り入れていくべき。
- ・企業誘致について、富里市でも色々な取組はされているが、市街化調整区域を更に有効に活用していくことが富里市の発展につながる。

【委員】

- ・DXの推進は重要であり、富里市でもDX推進計画を策定しているが、高齢者の視点が欠けているように感じる。
日吉台では「ささえ合い協議体」による、高齢者が高齢者へスマホ操作を教える教室があり好評を得ている。
若者から教わるより、同世代で同じ感性の方から教わる方が、より理解が進むそうで、高齢者を取り残さないDXの推進に重要な視点だと思ふ。
デジタル推進委員になるには、団体（商工会や福祉協議会等）の推薦が必要であるので協力願いたい。
また、そういった教室を実施する際に使用する教材資料等の印刷費用の助成をしてもらえると助かる。
- ・消防の広域化について、期限が令和6年度までだったと記憶しているが、進捗状況は如何か。
市町村間での協議は、お互いの主張がぶつかり、なかなか前に進まないと思われるので、国や県に主導してもらい協議を進めるべきだと感じる。

【事務局】

- ・消防の広域化については、御指摘のとおり市町村間での話し合いでは、なかなか進まないため、千葉県に主導してもらい協議を進められるよう申し入れている。
詳細な進捗状況については、現時点で把握していないが、担当部署において継続して協議している。

【委員】

- ・消防職員などで、特殊車両の免許取得者について、人員配置で手薄になる場合などが想定されるため、免許取得に関する費用負担について助成するような仕組みが出来ないか。

【事務局】

- ・近年の消防本部からの予算要求は無かったと認識しているが、市の財政状況を考慮して、あえて担当部署で取り下げている可能性もあり得るので、担当部署に確認し、必要に応じて協議していきたいと思う。

【委員】

- ・地域の自主防災組織について、富里市では小学校区単位で形成され運用されていると思うが、有事の際に機動的に動けるよう、さらに細分化した地域組織が必要ではないか。

【事務局】

- ・組織の構築方法だと思われるが、担当となる防災課へ、御指摘いただいた意見を伝えたいうえで、検討していきたいと思う。

【委員】

- ・この会議の前に、住民税申告に課税課へ寄ってきたが、住民税申告がマイナポータルで出来れば非常に良いと思うので、国との調整が必要だろうが今後検討いただければと思う。

【委員】

- ・消防の広域化については、期限が迫っているため待ったなしの状況だと思われるので、遅滞なく進めていただければと思う。
- ・経常収支比率の改善は何か理由があるのか。

【事務局】

- ・経常収支比率が改善しているのは、富里市に限ったことではなく、国の予算配分によるものが1つ考えられる。
また、税収についても徴収体制の強化など増やす努力をしてきて上向きになってきていること、令和に入ってから地方債の発行を控えていることなどの結果によるものとみている。

【委員】

- ・企業誘致については、様々な取組を行っていることは承知している。空港の機能強化により、空港関係従業員が7万人に増加する試算もできているが、これからは明らかに人材不足が進み、外国人人材の流入が大きな流れとなることが想定される。
山武市ではスリランカ人の流入が多く、800人ほどのコミュニティが出来ていると聞いているが、既存住民と今後更なる流入が見込まれる外国人との関係構築に、イベント等の仕掛けが必要になってくると思われる。

【事務局】

- ・当市における令和5年度からの取組となるが、外国人支援窓口をウェルカムデスクとして、現在の週2回の午前中のみの体制から、週5回の全日体制に拡充していく。
また、そこで窓口対応する担当者が主体的に、外国人にとって住みやすい環境につながるサービスや、取組みを検討していきたいと考えている。

【委員】

- ・教育現場においても同じような課題が出てくると思うので、同じように対応していく必要があると思う。
- ・また、こども園について、維持管理に相当な経費がかかっている様だが、保育施設の運用について、もう少し民間に任せても良い部分があると思うが如何か。

【事務局】

- ・待機児童が解消されていない状況、少子高齢化の進行により子どもの数が減少する中で民間がどう動くか、障害を持つ子供たちについて民間ではなかなか受け入れにくい等、様々な要因があるので、総合的に検討を進めバランスよく進めていきたい。

【委員】

- ・様々な要因があり一概には言えないが、民間委託が良いとも言いにくい。非常に難しい。

【委員】

- ・過去の経験からの意見だが、一般的に民間より公営保育施設の方が信頼度が高く見られる傾向はあると思う。ただ、民間の方が自由度が高く、運用してみたら人気が出たというケースもあり、一概には言えず、バランスは非常に難しいと思う。

【会長】

- ・ありがとうございました。
- ・他に意見はないか。

【事務局】

- ・本日都合により欠席の委員からも、書面にて意見を頂いているので報告させていただく。
- ・市税等の徴収率について表記があるが、滞納繰越分についても表記するべきではないかとの意見をいただいた。
- ・滞納繰越分については当然のことながら担当課において適正に管理されており、市や県のホームページでも公表されているが、当第3次行政改革大綱改革プランに記載していくかどうかについて、担当課と協議しながら次年度に向けて検討していきたいと思う。

【会長】

- ・ありがとうございました。
- ・それでは、各委員の皆さまからいただいた意見を、今後の行政改革に反映いただき、更なる推進を図っていただければと思う。

〈議事終了〉

7. その他

【事務局】

- ・当審議会の公募委員について、令和4年度に募集したが応募が無かったため、令和5年度においても、再度公募を5月頃に実施する予定でいる。

8. 閉会